

多文化共生に関するアンケート調査結果

清流の国づくり政策課

1 調査目的

県では、外国人住民を地域社会の一員として認識し、互いの文化や考え方を尊重するとともに、安心して快適に暮らすことができる地域社会(多文化共生社会)の実現を目指し、様々な施策に取り組んでいます。

今後の多文化共生に関する施策の基礎資料とさせていただくために、多文化共生に関するご意見とご意向をお尋ねしました。

2 調査対象など

調査対象: 県政モニター679人(うちインターネットモニター389人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 平成28年6月17日～7月8日

回収結果: 584人(回答率86.0%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○ 多文化共生社会の実現について

外国人と共生する社会の実現について、「重要だと思う」40.6%が最も多く、「どちらかといえば重要だと思う」37.2%、「どちらともいえない」18.2%、「あまり重要だとは思わない」2.7%、「重要だと思わない」1.0%の順となっている。

○ 外国人住民に期待することについて(複数回答)

外国人住民に期待することについて、「日本の法律、生活ルール、習慣を守る」91.4%が最も多く、「地域住民との交流や地域活動への参加」57.0%、「日本語や日本の文化を学ぶ」26.9%、「外国の言葉や文化を教える」22.9%、「生活の中で感じたことを提案・発言」20.1%の順となっている。

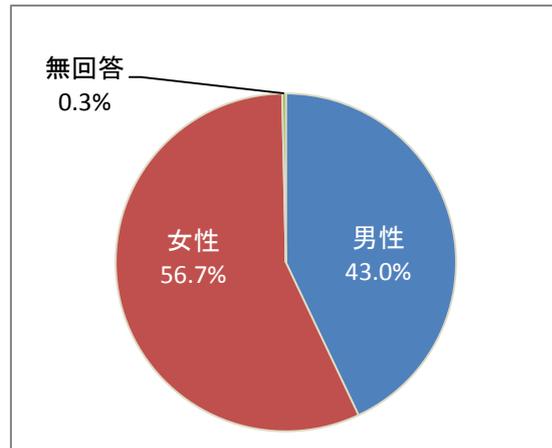
○ 多文化共生社会の実現に向けた県の施策について(複数回答)

多文化共生社会の実現に向けて特に必要な県の施策について、「外国人に対する日本の生活ルール、習慣、文化の違いなどの周知」75.6%が最も高く、「外国人の子どもに対する教育の充実」40.6%、「外国人に対する医療・保健・福祉などの生活支援」31.0%、「外国人に対する相談体制や、外国語による情報提供の充実」27.9%の順となっている。

4 回答者属性

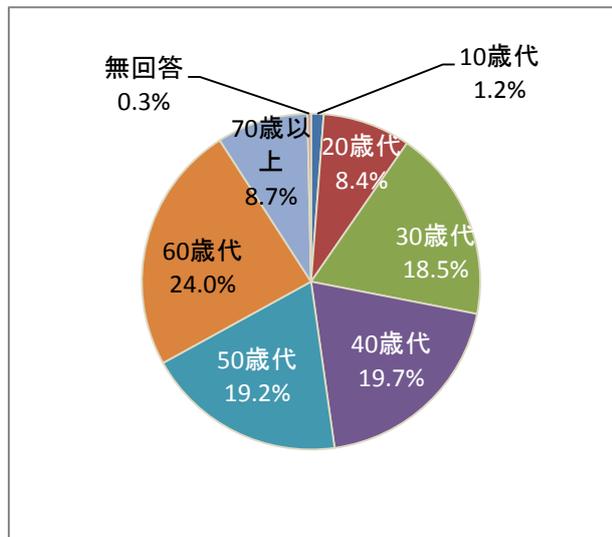
(1) 性別

	人数	割合
男性	251	43.0%
女性	331	56.7%
無回答	2	0.3%
計	584	100.0%



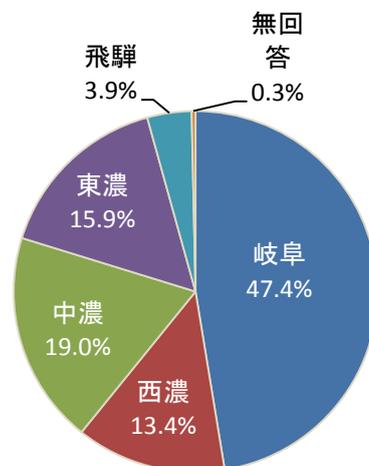
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	7	1.2%
20歳代	49	8.4%
30歳代	108	18.5%
40歳代	115	19.7%
50歳代	112	19.2%
60歳代	140	24.0%
70歳以上	51	8.7%
無回答	2	0.3%
計	584	100.0%



(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜	277	47.4%
西濃	78	13.4%
中濃	111	19.0%
東濃	93	15.9%
飛騨	23	3.9%
無回答	2	0.3%
計	584	100.0%



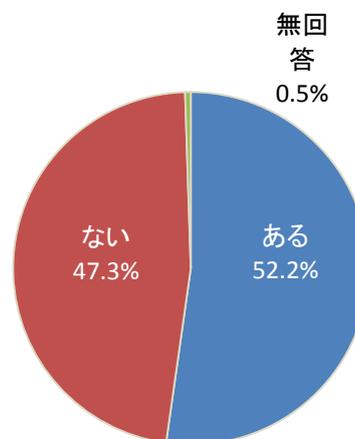
5 調査結果

問1 あなたは「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。
次の中から、あてはまるものを1つあげてください。

「多文化共生」とは。

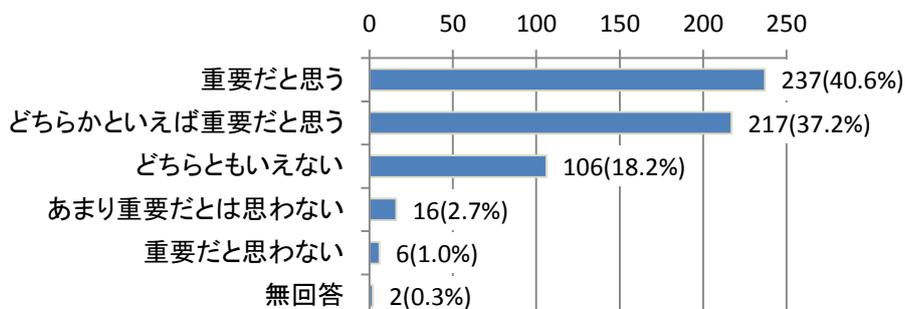
国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化を認め合い、地域社会の一員として、共に暮らしていくことを意味します。

	人数	割合
ある	305	52.2%
ない	276	47.3%
無回答	3	0.5%
計	584	99.5%



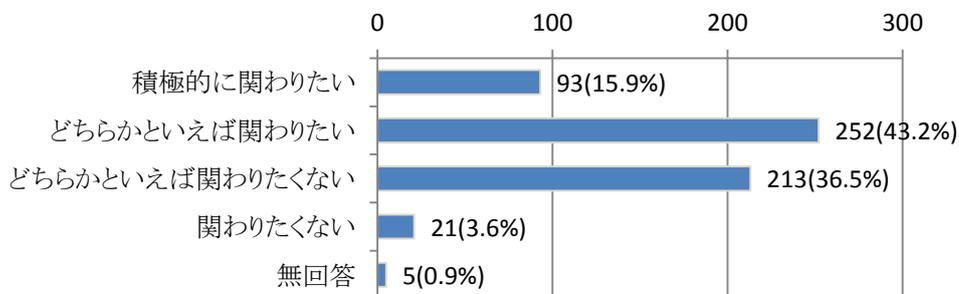
問2 現在、岐阜県内には多くの外国人(約4万4千人)が暮らしています。
あなたは、外国人と互いに認め合い、共に暮らす社会の実現についてどう思いますか。
次の中から、あてはまるものを1つあげてください。

	人数	割合
重要だと思う	237	40.6%
どちらかといえば重要だと思う	217	37.2%
どちらともいえない	106	18.2%
あまり重要だとは思わない	16	2.7%
重要だと思わない	6	1.0%
無回答	2	0.3%
計	584	100.0%



問3 あなたは外国人住民とどの程度関わりたいですか。
次の中から、あてはまるものを1つあげてください。

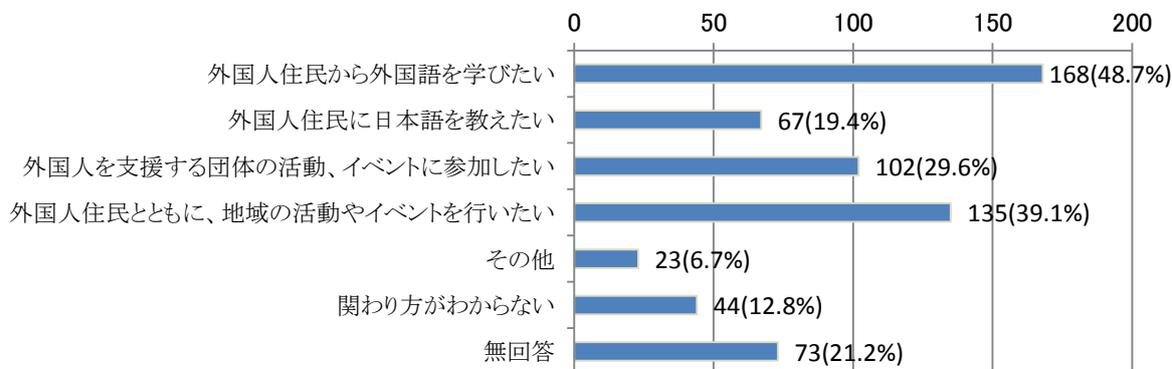
	回答数	割合
積極的に関わりたい	93	15.9%
どちらかといえば関わりたい	252	43.2%
どちらかといえば関わりたくない	213	36.5%
関わりたくない	21	3.6%
無回答	5	0.9%
計	584	100.0%



問4 (問3で「1 積極的に関わりたい」「2 どちらかといえば関わりたい」と答えた方)
あなたは外国人住民とどのように関わりたいですか。次の中から3つまであげてください。

回答者 345 人

	回答数	割合
外国人住民から外国語を学びたい	168	48.7%
外国人住民に日本語を教えたい	67	19.4%
外国人を支援する団体の活動、イベントに参加したい	102	29.6%
外国人住民とともに、地域の活動やイベントを行いたい	135	39.1%
その他	23	6.7%
関わり方がわからない	44	12.8%
無回答	73	21.2%
計	612	-



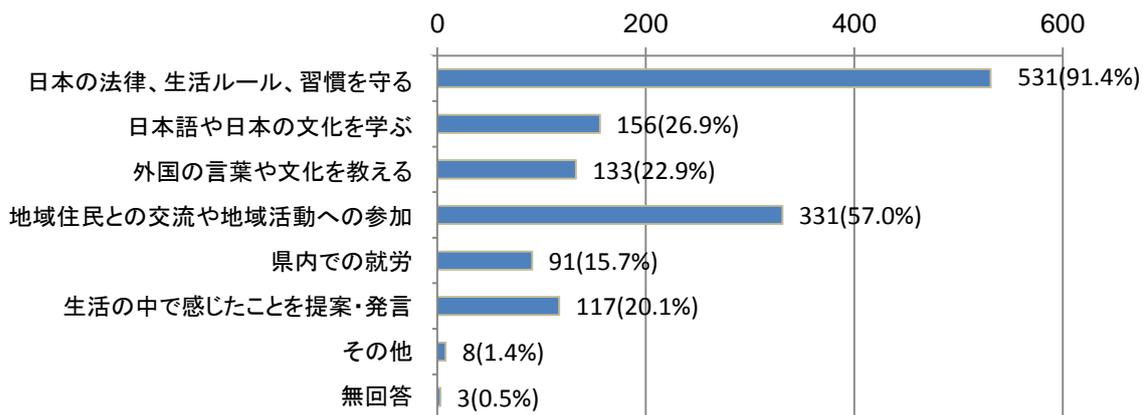
※「その他」のうちの主なもの

- ・ 外国の文化や、料理を学びたい。
- ・ 外国人住民の方に岐阜県の良いところや地域の文化を教えたい。
- ・ 一緒に仕事をして、地域を盛り上げたい。
- ・ 外国人を特別な人と見るのではなく、隣人の一人と認めたい。

問5 外国人住民と互いに認め合い、共に暮らす社会にしていくために、あなたは外国人住民にどのようなことを期待しますか。次の中から3つまであげてください。

回答者 581 人

	回答数	割合
日本の法律、生活ルール、習慣を守る	531	91.4%
日本語や日本の文化を学ぶ	156	26.9%
外国の言葉や文化を教える	133	22.9%
地域住民との交流や地域活動への参加	331	57.0%
県内での就労	91	15.7%
生活の中で感じたことを提案・発言	117	20.1%
その他	8	1.4%
無回答	3	0.5%
計	1370	-



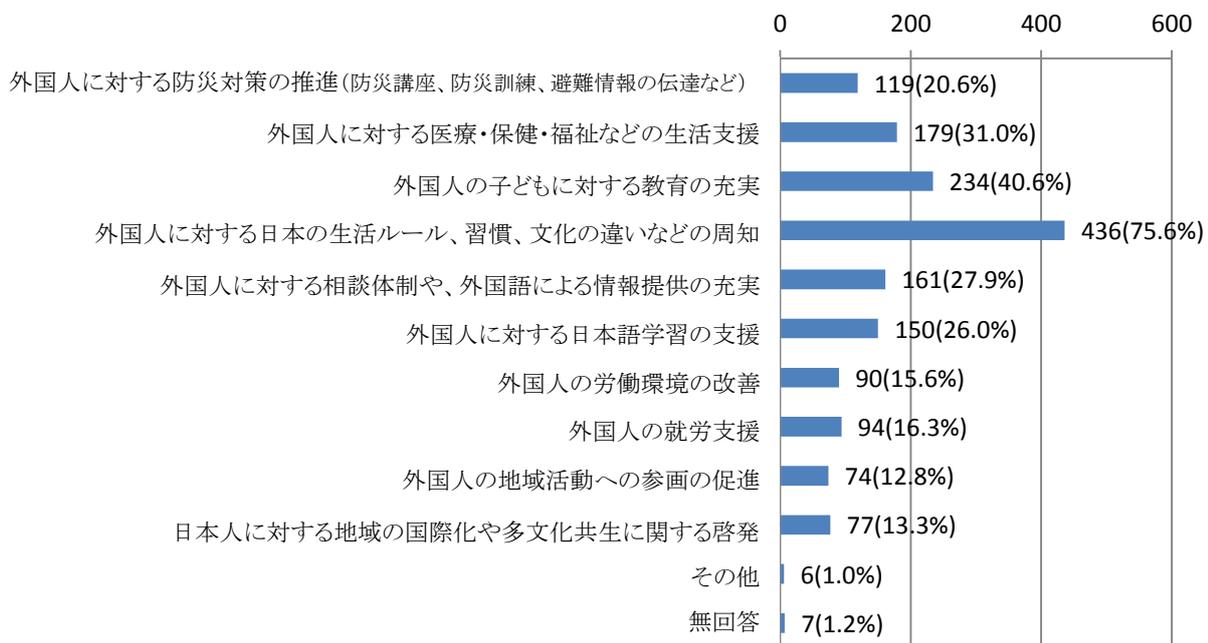
※「その他」のうちの主なもの

- ・ 日本文化の特殊性を無理強いしないこと。
- ・ 外国人住民の文化を聞き、違いや理解に繋がられないか。
- ・ お互いを阻害しないで、必要なことを伝えあっていきたい。

問6 外国人住民と互いに認め合い、共に暮らす社会にしていくために、特に必要と思われる県の施策は何ですか。3つまであげてください。

回答者 577 人

	回答数	割合
外国人に対する防災対策の推進(防災講座、防災訓練、避難情報の伝達など)	119	20.6%
外国人に対する医療・保健・福祉などの生活支援	179	31.0%
外国人の子どもに対する教育の充実	234	40.6%
外国人に対する日本の生活ルール、習慣、文化の違いなどの周知	436	75.6%
外国人に対する相談体制や、外国語による情報提供の充実	161	27.9%
外国人に対する日本語学習の支援	150	26.0%
外国人の労働環境の改善	90	15.6%
外国人の就労支援	94	16.3%
外国人の地域活動への参画の促進	74	12.8%
日本人に対する地域の国際化や多文化共生に関する啓発	77	13.3%
その他	6	1.0%
無回答	7	1.2%
計	1627	-



※「その他」のうちの主なもの

- ・ 外国人側からの意見を参考にすべき。

問7 その他、ご意見等がございましたらお聞かせください。(主な意見)

- ・ 多種多様な外国人に対する見方を県民も意識向上していくべき。
- ・ もっと交流したいと思うが、その機会が少ない。
- ・ 言葉が通じなかったり生活習慣の違いなどが不安でどうしても消極的になってしまう。
- ・ 外国人はマナーを守らない、怖いという先入観がある人が多いと思う。積極的に地域の活動に参加することで改善できるのではないかと思う。
- ・ 日本のルール、マナーを守ってほしい。公の機関からの指導があると心強い。
- ・ どの国籍であろうと、子供を健全に教育現場で育て、その保護者の支援も充実させてほしい。
- ・ 日本語指導ボランティア間の連携があっても良いと思う。県行政として取組みを検討してほしい。
- ・ 介護関係の就業人員不足等が直近の課題になっており、外国人住民とのミスマッチ解消に向けた施策促進が必要と考える。
- ・ 外国人を雇用する会社が指導を行い、責任を負う必要があると思う。
- ・ 外国人を雇用する企業の指導・監督に力を入れてほしい。
- ・ 地域の安全の面が心配だ。
- ・ 外国人住民の状況は市によって大きく異なる。県としては市の希望要請に応じて支援していくのがいいのではないか。
- ・ 近年は、防災対策の重要度は増していると感じる。